

ERE information

Vol.28 2015年9月16日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/石倉 正光
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶第28回経済学検定試験：『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに前回平均点を下回る
- ▶第23回「大学対抗戦」：専修大学「経済学検定演習講座A」チームが連続優勝！
 - ・「負けたくない」その気持ちが優勝へ（優勝チーム 古郡拓也さん）
 - ・大学編入試験対策とERE試験の両立で勝ち得た準優勝（準優勝チーム 作馬歩奈実さん）
 - ・公務員試験対策として始めたEREの学習で、経済学に興味を持つ！
(個人賞トップ 中村天平さん)
- ▶第24回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！
- ▶委託会場制度の利用のご案内
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第29回ERE実施要領

《第28回経済学検定試験》

『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに
前回平均点を下回る

2015年7月5日(日)に実施いたしました第28回ERE、EREマイクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回は、EREとEREマイクロ・マクロの合計応募者数が1,197名でした。

成績概要は〈資料1・2〉のとおりです。

EREは前回の平均点を51.7点下回りました。マイクロ経済学の平均点が前回の平均点を10.9点上回りましたが、マクロ経済学を始めとする他の科目が前回を下回ったことが要因で平均点が低下しました。EREマイクロ・マクロも前回の平均点を34.9点下回りました。マイクロ経済学・マクロ経済学とも、前回を下回っています。

7月と12月の試験の平均点を比較すると、7月が低く、12月が高いという傾向が表れています。

《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	118.9点	110.2点	57.9点	35.2点	34.9点	39.7点
(前回)	108.0点	136.1点	55.9点	46.1点	48.8点	53.5点
標準偏差	51.63	56.61	26.18	22.22	18.16	19.92
(前回)	43.98	41.88	22.76	22.48	17.92	22.37

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	97.8点	93.2点
(前回)	107.5点	118.3点
標準偏差	44.12	44.14
(前回)	47.87	42.26

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	87名	1,110名
受験者数	61名	878名
平均点	396.7点	190.9点
標準偏差	147.43	81.94
最高得点	770点	480点
最低得点	150点	60点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	青山学院大学	76	18	関東学院大学	13
2	中央大学	52	18	名古屋学院大学	13
3	日本大学	50	20	高崎経済大学	12
4	麗澤大学	41	20	長崎県立大学	12
5	長崎大学	28	20	創価大学	12
5	大分大学	28	23	岡山商科大学	11
7	龍谷大学	24	23	熊本学園大学	11
8	福島大学	22	25	金沢大学	10
8	九州共立大学	22	26	跡見学園女子大学	8
10	専修大学	21	26	立命館大学	8
11	弘前大学	20	28	神戸国際大学	6
11	大阪産業大学	20	29	小樽商科大学	5
13	久留米大学	19	29	広島修道大学	5
14	旭川大学	17	29	専) 福岡カレッジ・オブ・ビジネス	5
14	立正大学	17	32	新潟産業大学	3
14	九州産業大学	17	33	お茶の水女子大学	2
17	宇都宮大学	16	34	長岡大学	1
				個人申込	570

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」+「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	日本生命保険相互会社	財務審査部	篠原 哲	S
2	専修大学	文学部	中村 天平	A+
3			大沼 英明	A+
4				A+
5			清水 邦敏	A+
5	専修大学	経営学部	古郡 拓也	A+
5			作本 安浩	A+
8				A
8			松田 麟太郎	A
10	専修大学	経済学部	平良 春人	A
11			浮田 陽一	A
12			阿部 靖幸	A
12			刑部 智暁	A
14			松尾 祐樹	B+
15	前川公認会計士事務所	所長	前川 克博	B+

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
16	新潟県柏崎地域振興局	地域整備部用地課	長 井 謙 介	B+
17			松 岡 宏 明	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1			石 沢 華	S
2			XU BEITING	S
2			陳 昱	S
4	早稲田大学	政治経済学部	三 木 隆 寛	S
4			段 煉	S
6	慶應義塾大学	経済学部	長 坂 直 哉	S
6			徐 せい	S
6			ZHA LIANG	S
6	専修大学	経営学部	中 村 友 哉	S
6			LUO QIANYUE	S
6	岡山商科大学	経済学部	龔 藝 偉	S
12			羅 鵬	S
12			衡 さん	S
12			島 本 昌 和	S
12	京都大学	教育学部	中 村 優 士	S
16	東京大学	経済学部	金 重 洸 紀	S
16			洪 葉	S
16			李 文 祺	S
16	行知学園		梁 鵬 飛	S
16			XIA TIAN	S
21	福島大学	経済経営学類	杉 田 将 弥	S
21			秘 銘 梁	S
21			LIU QINGQING	S
21			中 上 亮	S
21	創価大学	経済学部	市 川 諒	S
26	明治大学	政治経済学部	峯 寫 純 平	S
26			DING CAN	S
26			杜 京 京	S
26			周 澤 陽	S
26			飯 島 周 作	S
26	神奈川県庁	保健福祉局	大 内 隼	S
26	行知学園		杜 豪	S
33			王 曉 穎	S
33			FAN CHEN	S
33			徐 涛	S
33	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	大学編入科	青 木 航	S
33	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	大学編入科	作 馬 歩 奈 実	S
33	熊本学園大学	経済学部	坂 本 竜 之 介	S
39	行知学園		李 一 帆	S
39	慶應義塾大学	経済学部	吉 田 堯 史	S
39			卓 拉	S

《第23回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

専修大学「経済学検定演習講座A」チームが連続優勝！

準優勝は福岡カレッジ・オブ・ビジネスの「F・C・B経済学愛好会」チーム／個人賞トップは中村天平さん

第23回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、7校13チーム、計89名で競われました。

優勝は、専修大学「経済学検定演習講座A」チームでした。前回の1,630点を大きく上回る1,780点を獲得して、前回に引き続き、2回目の優勝となりました。

準優勝チームは、1,280点を獲得した専門学校 福岡カレッジ・オブ・ビジネスの「F・C・B経済学愛好会」チームです。

第3位には、1,180点を獲得した福島大学の「経済分析愛好会S」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、470点を得点した専修大学「経済学検定演習講座A」チームの中村天平さんです。

なお、個人賞は360点以上10名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は251.15点で前回は32.32点下回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	経済学検定演習講座A	専修大学	1,780点	445.0点
準優勝	F・C・B経済学愛好会	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	1,280点	320.0点
第3位	経済分析愛好会S	福島大学	1,180点	295.0点

※参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝（2回連続）専修大学「経済学検定演習講座A」

「負けたくない」その気持ちが優勝へ

今回、E R E ミクロ・マクロ大学対抗戦において、優勝という結果を残せたことをチーム一同大変嬉しく思います。この結果は個々の力だけでなく、石川秀樹先生と大学職員の方々のサポートがあったからだと思っています。この場を借りて感謝申し上げます。

今回の優勝は、今まで以上に困難を極めました。前回優勝のプレッシャーや主力の上級生が抜けた穴を埋めなくてはならないなどのチーム内の変化があり、これまで以上に個々の能力の向上が求められました。そのような状況の中で連覇が出来たのは、他のチームに負けたくないという気持ちはもちろんのこと、メンバーの一人ひとりがチーム内でも一番をとってやろうという強い気持ちが大きく作用したからだと思っています。

今回優勝という結果を残すことができましたが、私たちの経済学の知識は、まだ発展途上です。より一層、経済学の知識を吸収していきたいと思っています。

（専修大学 経済学検定演習講座A 古郡拓也さん）

☆準優勝 福岡カレッジ・オブ・ビジネス「F・C・B経済学愛好会」

大学編入試験対策とE R E試験の両立で勝ち得た準優勝

今回、E R Eミクロ・マクロ大学対抗戦において惜しくも優勝は逃してしまいましたが、準優勝という結果を残すことができ、メンバー一同嬉しく思っています。第19回と第21回で先輩方が優勝し、我々メンバーも先輩方に負けじと日々の学習に取り組んできました。

現在、私たちは大学の3年次編入を目指し勉学に励んでいるのですが、編入試験の対策としての記述力が求められる経済学の勉強と、幅広く高度な専門知識が求められるE R Eの勉強の両立はとても大変でした。

E R Eの個人の学習方法としては、過去問を繰り返し解き、間違えた問題の分野を参考書などで確認し弱点を克服して知識を身につけるといった形で対策をしてきました。また、参考書で確認してもわからなかった問題は先生方に質問したり、メンバー内で教え合ったりすることで、さらに理解を深めることができました。E R Eの受験の準備により得た経済学の全般的な知識を活かし、大学編入試験に向けさらに努力していきたいと思えます。

(福岡カレッジ・オブ・ビジネス 大学編入科 作馬 歩奈実さん)

☆個人賞トップ

公務員試験対策として始めたE R Eの学習で、経済学に興味を持つ！

私達のチームが、今回の大学対抗戦で、優勝という素晴らしい結果を残せたことを大変嬉しく思います。また、今回は、初めて個人賞トップをとることができました。これは一年生のころからご指導頂いた石川秀樹先生と一緒に勉強し、競い合った仲間のおかげであると感じています。先生や友人、そしてお世話になったエクステンションセンターの方々に感謝しています。

E R Eの学習は、過去問の演習を中心に行い、そこでの疑問点は完全に解消されるまで徹底的に調べるように努めました。チームのメンバーは皆、個別に目標をたて、その目標を達成するために主体的に日々の学習に取り組みました。そして前回の大学対抗戦で優勝という結果を残せたことも、学習の励みになっていたと思えます。

公務員試験対策の一環として取り組み始めたE R Eですが、経済学の習熟度をはかる目安となることはもちろん、経済学に興味を持つ良いきっかけにもなりました。この結果に満足せず、これからも努力を続けていきたいと思えます。

(専修大学 経済学検定演習講座A 中村天平さん)

第24回E R Eミクロ・マクロ「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2015年12月6日(日)実施 ●受付期間：2015年9月24日(木)～10月23日(金)〈消印有効〉

●前回まで参加した51校 (50音順)

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／
大阪産業大学／大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／
九州大学／京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／
埼玉大学／札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／創価大学／高崎経済大学／
中央大学／筑波大学(同大学院)／帝塚山大学／東京大学／東京理科大学／
同志社大学／東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／
名古屋学院大学／名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／
福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／武蔵大学／明治大学／
山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学

▶委託会場制度利用のご案内

現在、全国に15の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体を超える大学に登録・実施をいただいております、少しずつ全国に広がりを見せている制度です。どうぞご利用ください。

●委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

●委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ① 協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。
- ② 受験申込者数が2種目（E R E／E R Eマイクロ・マクロ）の合計で10名以上であること。
- ③ 試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。
- ④ その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

●試験実施までの流れ

〈試験前に行っていただくこと〉

- ① 到着資材の確認
- ② 試験問題等重要資材の保管

〈試験当日〉

運営方法を記した『試験実施規定』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

〈試験終了後〉

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同じの手続きにより採点し、成績結果を通知します。

●実施手数料のお支払い

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用FD願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

■検定試験運営センター■

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

Tel：03-3267-4821 Fax：03-3267-4999 e-mail：info@ere.or.jp

就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

■特 徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

■出題科目等

〔ERE〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

〔EREMикро・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

■活 用 例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

■備 考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国15の試験会場において実施しており、年間約3,000名強の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の受験者となっています。

《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

2015年度 第29回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 29 回
試験日	2015年12月6日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2015年9月24日（木）～2015年10月23日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4択一式／90問，1問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 29 回
試験日	2015年12月6日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2015年9月24日（木）～2015年10月23日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,240円（税込）
出題形式	4択一式／50問，1問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

2015年12月受験用 E R E 経済学検定試験 問題集

- 第25回～第28回の試験問題360問と解答・ポイント解説を掲載
- 出題傾向の把握が可能

日本経済学教育協会 認定 経済法令研究会 編
A 5判 304頁 予価1,900円+税